



“りそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ！ Study

2023
January
1月

制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

日本の公的年金はどう運用されている？

私たちが納めた国民年金、厚生年金の保険料の積立金は、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が管理・運用しています。GPIFでは、公的年金の積立金をどのように運用しているのでしょうか？

GPIF (Government Pension Investment Fund) : 厚生労働大臣から寄託を受けた公的機関



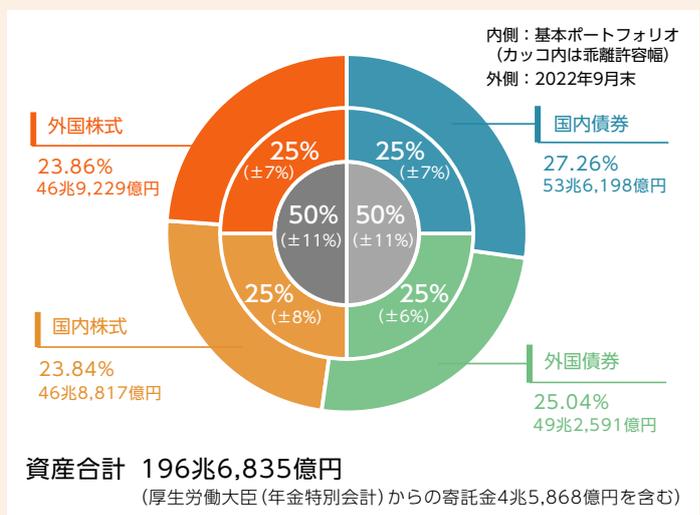
Ⅰ 長期運用・分散投資が基本

GPIFは、これまで現役世代が納めた年金保険料の内、年金の支払い等に充てられなかったお金を年金積立金として預かり、将来世代のために運用して増やそうとしています。概ね50年程度は取り崩す必要が生じないため、長期的な観点から運用を行っています。長期的な運用では、短期的な市場の動向を見て資産構成割合を変更するより、基本となる資産構成割合を決めて長期間維持していく方が、効率的で良い結果をもたらすことが知られています。

現在の資産構成割合（基本ポートフォリオ）

当初は国内債券中心（60～70％）の配分でしたが、2014年10月以降、債券50％・株式50％の基本ポートフォリオ（国内債券35％）に変更し、2020年4月からは右図のとおり、4資産に25％ずつの分散投資となっています。

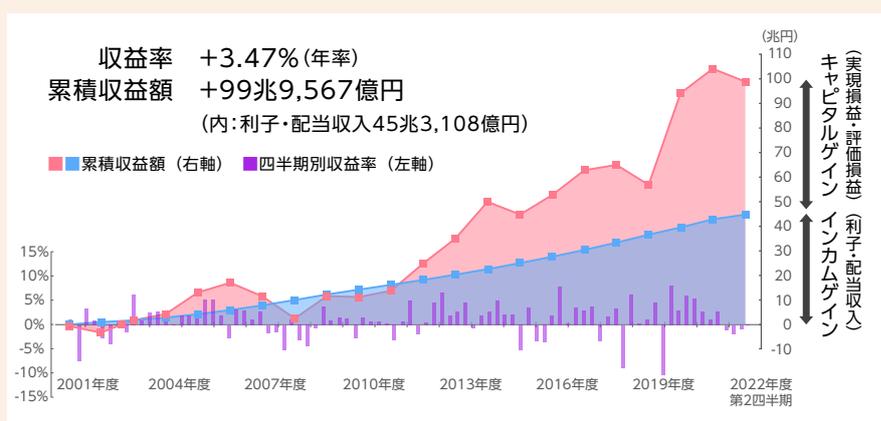
運用資産額・構成割合（年金積立金全体）



Ⅱ 運用状況はどうなっている？

年金積立金の運用状況は、国民に対して適時適切な情報提供を行う観点から、事業年度毎の業務概況書のほか、四半期毎に運用状況の速報が公表されています。GPIFは長期的に投資収益を拡大するため、ESG投資を推進しています。GPIFの前身の基金が設立された2001年度以降の運用状況を見ると、全体として安定して運用が行われ、公的年金制度の中で、しっかりした役割を果たしていると言えるでしょう。

2001年度以降の累積収益（2001年度～2022年度9月末）



確定拠出年金の各種お手続きの方法は「便利な手続き集」からご覧いただけます。

便利な手続き集はこちら



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/process/>

2023年1月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+ [2#]

本レターの無断引用・転載はお断りします。